

THROW

Professional Hair Color

THROW HAIR CARE は
ヘアカラーにより解放された私らしさを
もっと楽しむために生まれたヘアケアライン。

サロンケアとホームケアにより
色持ち、ダメージの抑制、質感を操り、
思いのままの表現を叶えます。



THROW HAIR CARE GUIDE



THROW OFFICIAL SITE
<http://throw-web.com>

スロウカラー 検索

株式会社ビューティーエクスペリエンス 東京都世田谷区用賀4-10-1 お問合せ窓口 03(6757)7767 beauty experience



株式会社エアーエンターテイメント

Director 喜多代 陽介 氏



— THROWヘアケアの開発背景を軽くご紹介ください。

ダメージケアはもちろんですが、ヘアカラーを活かすためには色持ちを良くさせる事が大事だと思いました。THROW カラー後に様々なケアアイテムを使用してきた中で、もっとTHROW カラーのケアとして最適化を図りたいと考えました。そこで、今回の開発では1ブランドでカラーからケアまでTHROWブランドで提案できるようにしました。

— 今回の開発製品の中で1番こだわったところは？

一番のこだわりは、色落ちさせない為の界面活性剤の処方設計にあります。アミノ酸系での色に対する配慮はもちろんですが、洗浄効果と頭皮や髪に対するケア性とのバランスも含め、何度もテストを繰り返し調整してきました。使用面でも泡立ち・泡質・指通りを良くする為のこだわりがありますので、ロングの絡みや短い髪でもストレスフリーで楽しめるシャンプーになっています。

— THROWカラー後に使用するメリット、使用中に感じて頂きたいポイントなどありますか？

特に感じて頂きたいのは、カラーチューナーなどを使い、pHの調整やキューティクルのケアをしっかり行なう事で、色みや深み、ツヤといった質感で、今まで以上にTHROWカラーの質感の良さを感じられると思います。

— 今までのカラー用ヘアケアとの違いはどこですか？

THROWカラーのケアとして考えられた点で、圧倒的な色持ちの良さだと思います。

— サロンで取り扱うヘアケアの中で、お客様へTHROWヘアケアをアプローチする際のポイントとは？

特にグレーカラーをされるお客様はカラー周期が短いこともあり、サロンとホームケアでしっかりケアすることで、年間を通して色持ちの良さやダメージケア効果を実感してもらえそうです。

— THROWヘアケア発売にあたり、メッセージをお願いします。

THROWカラーをされているお客様にもっと喜んでもらいたいです。THROWヘアケアは、サロンとお客様との信頼関係を大きく変える良いアイテムになります。是非、お試しください！！

【プロフィール】

株式会社エアーエンターテイメント ディレクター/air-OSAKA 店長。サロンワークの傍ら、プライベートブランドや有名ブランドのプロダクト開発にも数多く携わっている。

開発サロン
STAFF
Interview

air / 藤山 茜さん

- ①私自身、細毛で少しダメージ毛ですが、泡立ちも良く洗いやすいと感じました。シャンプーを流す時の指通りの良さやきしまないところ、トリートメントの仕上がりの艶とまとまりが良かったです。
- ②エアリータイプ
- ③洗っている時の泡立ち指通りが洗いやすいという点、仕上がりの艶感、色落ちの少なさ。黄みが出やすい自分の髪にはとても良く感じました。手触りの良さや、バサつき、広がりがなく、髪にまとまりが良かったです。
- ④今までのカラー用ヘアケアは、泡立ちや洗い上がりの質感に悪いイメージがありました。その点、THROWヘアケアは想像以上の艶と洗いやすさを感じました。
- ⑤ヘアカラーの持続性や艶感、ヘアケアとしてのダメージ補修効果の高さもポイントです。

- ①スタイリング剤をいつも沢山つけているので、毎回、2回シャンプーするのですが、THROWシャンプーは、泡立ちが早く、1回のシャンプーで汚れが落ち、とても使いやすいと感じました。
- ②エアリータイプ
- ③特にシャンプーは泡立ちも良く、流した時にハイダメージ毛でも、きしむ事なく、指通りが良いと感じ、トリートメントを流した時のような質感を感じました。
- ④髪の毛をドライした時に、アウトバストリートメントを使用しなくても、髪の毛のまとまりを感じました。
- ⑤ダメージヘアに対して、沢山のアイテムを使用しなくても、毎日の生活の中で、シャンプーとトリートメントをするだけで、髪の毛がまとまるという点だと思います。



air / 伊藤 江里奈さん

- ①細毛で軟毛のモデルにエアリータイプを使用した結果、ふんわりとした仕上がりになり、ツヤも使用する前よりもかなりでした。
- ②アッシュシャンプー
- ③今までカラーシャンプーを使用した時、仕上がりのバサつきが気になりましたが、THROWアッシュシャンプーは、バサつきやきしみもなく艶のあるサラとした仕上がりになりました。髪色もオレンジ・黄色っぽい色みが抑えられました。
- ④今までのカラートリートメントの仕上がり比べても、アッシュシャンプーの仕上がりの手触り、ツヤは最高に良く感じました。
- ⑤1番はツヤです。仕上げの際、ツヤツヤになったキレイな髪を見てもらいアプローチしてみてください。

- ①どのシャンプーも泡立ちが良く洗いやすくて使いやすかったです。シャンプーを流した時のつかかりなどがなく、この段階で良い仕上がりになる感触がありました。
- ②エアリータイプ
- ③ベタっとしたくない、バサつきたくない、サラサラになりたい方にすごく合っているヘアケアでした。両タイプも香りが同じなので、毛先の質感がもの足りない場合にはトリートメントをモイストに換えるなどできるので良かったです。
- ④カラーケア重視の製品は、シャンプーの泡立ちやトリートメントの重さなどに偏りがあり、褪色防止については美容師が若干気づくレベルのモノしかなかったのですが、THROWヘアケアはバランスもとれていて褪色防止効果も高く使いやすかったです。
- ⑤シャンプー剤の使いやすさ。泡立ちも良くシャンプーのみでも良いと感じるほどの実感があり、トリートメントとの相性も良く、まとまりとツヤがでやすいところです。



air / 栢本 優美さん

- ①泡立ち、泡の持ちがとても良く、洗いやすかったです。シャンプー後、流すときも髪がきしまず、指通りがよかったです。
- ②モイストタイプ
- ③乾かした後は、毛先のまとまりが良く、根元は適度なボリューム感を感じました。エアリーよりもモイストの方が、やわらかく潤いのあるまとまりを感じました。
- ④シャンプー後の指通りも良く髪がきしまないので、きちんとケアできたと実感します。
- ⑤ダメージ毛でも髪がきしまず、指通りが良いので、ストレスなく気持ちのいいシャンプーができることです。



air / 山口 千佳子さん



air / 山本 莉子さん

Belle

Color List 堀 加奈子 氏



— THROWヘアケアの開発背景を軽くご紹介ください。

THROWカラーを発売後、多くのサロン（美容師さん）に導入して頂き、THROWカラーがよりお客様に身近なものとなり、より長くTHROWカラーを楽しんで頂けるためのヘアケアを作りたいと思い開発に至りました。お客様にとってもサロン様にとってもベストなアイテム数など多方面から考え、最終的にこのような形になりました。

— 今回の開発製品の中で1番こだわったところは？

従来ヘアケアといえばトリートメント重視でしたが、毎日使う中で、シャンプー時の操作性やドライ前～ドライ中～仕上がりのまとまり感などストレスを感じさせない商品を作りたいと思い、途中経過や連続使用時の一定の安定感などの1つ1つのプロセスを分けて考えながら商品作りに取り組みしました。

— THROWカラー後に使用するメリット、使用中に感じて頂きたいポイントなどありますか？

ベタつきすぎず、軽すぎず、使用時のストレスフリーを体感して頂きたいと思っています。髪を洗う毎日のことが少しでも楽しみな時間を過ごして頂けるきっかけになれば幸いです。シャンプーの流しの際とドライ時の指通りの良さを感じて頂きたいです。

— 今までのカラー用ヘアケアとの違いはどこですか？

色持ちの面においても、色の落ちづらさを実現できています。そしてアッシュシャンプーは、色持ちキープをさらに実現することで長く楽しんで頂けるようにしています。

— サロンで取り扱うヘアケアの中で、お客様へTHROWヘアケアをアプローチする際のポイントとは？

褪色防止とシャンプー～ドライのストレスフリーが一番のポイントです。

— THROWヘアケア発売にあたり、メッセージをお願いします。

2年あまりの開発期間を経て発売しますが、すべてにおいて妥協なく作った商品です。THROWカラーからTHROWヘアケアを使って頂くすべての方に喜んで頂ける、そんな商品です。是非THROWヘアケアを体感してみてください。

【プロフィール】

大村美容専門学校を卒業後、都内有名店を経て、2011年「Belle」入社。ナチュラルでオシャレな、大人可愛いスタイルを得意とし、独自のセンスと薬剤知識で仕上げるヘアカラーテクニックはお客様はもちろんのこと、芸能人や有名モデル、他店の美容師まで魅了するほど。現在、Belleのカラーディレクターとして、サロンワークを中心に、カラー剤THROWの監修やセミナー活動など幅広く活躍している。



- ①特にモイストタイプが良く、すぐに買いたかったです。
- ②モイストタイプ
- ③すすぎ時の絡みもなく、滑らかな指どおりで重すぎずベタつきのないまとまり。
- ④高強度カラーでのダメージ用のイメージがあったが、中強度やライトダメージ毛でも効果が実感できる。
- ⑤ダメージ毛の方には、ホームメンテナンスとしてアッシュシャンプーがおススメ！使用感の良さや色持ちが実感してもらいやすい。



Belle / 波多野 萌絵さん

- ①シャンプーの泡立ちや香りがとても良く、モイスト・エアリーの質感違いもわかりやすい。
- ②モイストタイプ
- ③ブリーチ毛に対しても使用感が良く、重たくなりすぎず、まとまりやすくなります。
- ④カラー用ヘアケアタイプはダメージ補修や軽めの質感のものが多く、ブリーチ後に使用すると冬の時期は乾燥しやすくバサつきましたが、THROWは重くなりすぎず「しっとり」まとまってくれます。
- ⑤カラー後のダメージや乾燥を整え手櫛で感じる指どおりの良さ。



Belle / 染谷 菜月さん

- ①THROWシャンプーはトリートメントをつける前の段階で「つるっ」となり、指どおりが良くなったことを実感でき、すごく良いです。香りも抵抗感のない良い香りです。
- ②エアリータイプ
- ③質感的にはふんわり軽めの仕上がりで、モイストとは違ったまとまり感とツヤ感が出てくれる。
- ④カラー用ヘアケアで今まで使った事のあるものは、少しきしむような印象がありましたが、THROWシャンプーは褪色も抑えつつ、髪自体の質感や手ざわりも良くしてくれと実感できます。
- ⑤カラーリングのケアだけではなく、サラっと・ツヤっと仕上げる質感。



Belle / 佐藤 優里佳さん

- ①モイストシャンプーの香り、使用感共に良かったです。
- ②モイストタイプ
- ③ブリーチしている髪の毛でも「しっとり感」と「まとまり」が実感できる。
- ④しっとりまとまるのに重すぎない部分が髪質関係なく使いやすいところ。
- ⑤強すぎず、弱すぎない適度な香り。



Belle / 鈴木 唯さん

- ①全体的にバランスがとれていて良かったです。
- ②エアリータイプ
- ③軟毛や細毛でもエアリーの軽い質感でまとまりが出せ重さを感じない。
- ④カラーケアはもちろん、質感もしっかり出せて香りが良い点。
- ⑤香りを感じて頂き、仕上がりの手ざわり（質感）を確認してもらったこと。



Belle / 高橋 悠介さん

【スタッフインタビュー項目】

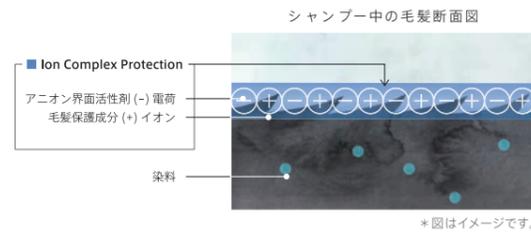
- ①サンプルを使用しての感想
- ②オススメアイテム
- ③良く感じたポイント
- ④今までのカラー用ヘアケアと違いを感じた点
- ⑤お客様へTHROWヘアケアをアプローチする際のポイント

徹底解剖：エアリー&モイスト シャンプー／トリートメント

■ ヘアカラーの褪色抑制を追求した「Ion complex Protection 処方」

アミノ酸系を主体とした界面活性剤のマイナスイオンと毛髪保護成分^{※1}のプラスイオンがシャンプー中に反応することでイオン結合し、水に馴染みにくい疎水性のプロテクトフィルムを毛髪表面に形成。このプロテクトフィルムが染料の流出を防ぐとともに質感とツヤの向上を叶えます。
(モイスト及びエアリーシャンプー共通処方)

※1 毛髪保護成分：ポリクオタニウム-10 (ヘアコンディショニング剤)



*図はイメージです。

■ キューティクルと水分保持に着目したダメージケア

リペアモイスタチャー成分^{※2}によりキューティクルの隙間を埋めることで、毛髪成分の流出を抑え、強度・水分保持機能を高め、カラーの定着とやわらかな手触り・ツヤをもたらします。
(モイスト及びエアリートリートメント共通処方)

※2 リペアモイスタチャー成分：加水分解ハトムギ種子 (保湿剤)、ポリ-ε-リシン (保湿剤)、ポリクオタニウム-51 (保湿剤)、オレイン酸コレステリル (加脂剤)、スクワラン (加脂剤)



*図はイメージです。

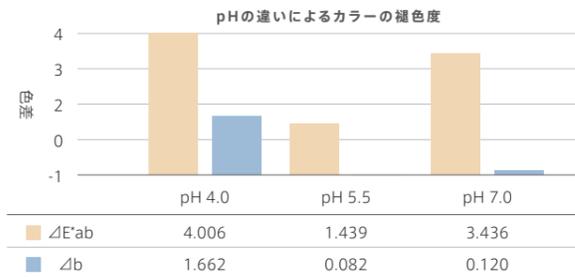
■ カラーの褪色を抑えるpH設定

カラーケアとして適したpH5.5 (弱酸性タイプ) に設計している事により、洗浄による褪色を抑制し、カラー後のキューティクルの開きを整えます。

■ 検証1 pHの違いによるカラーの褪色度

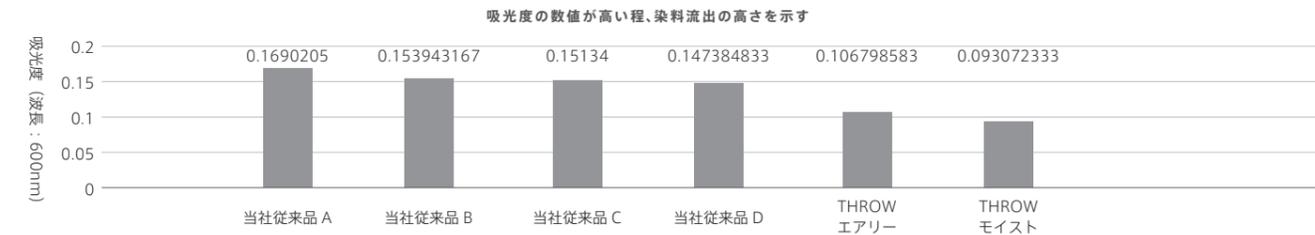
【テスト方法】
ブリーチ毛に「A/08」で処理した毛束を各pH調整水に25分間の浸漬。
ΔE*ab^{※3} グラフの結果より、pH5.5の水溶液に浸けたものが一番カラーの褪色度合いが少なく、Δb^{※4} 変化も小さいことからアッシュの色みを持続させるのに有効と言える。

※3 ΔE*ab：全体としての色差
※4 Δb：青～黄の色差



■ 検証2 シャンプー褪色比較検証

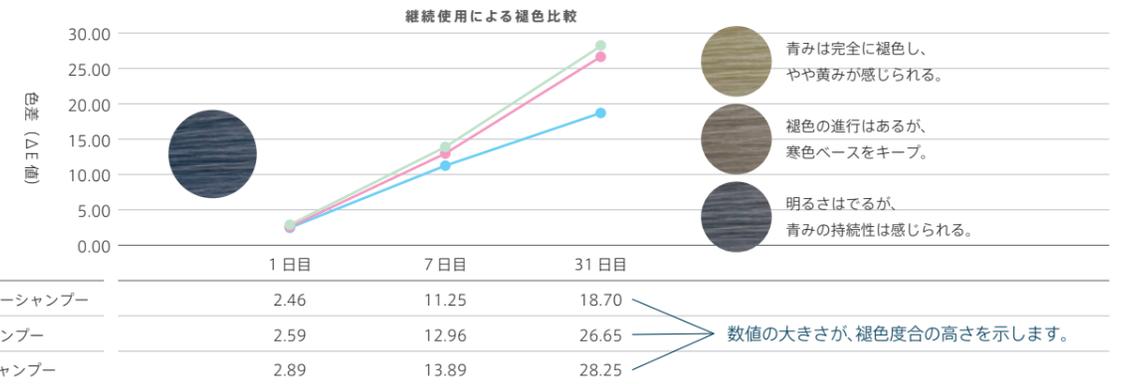
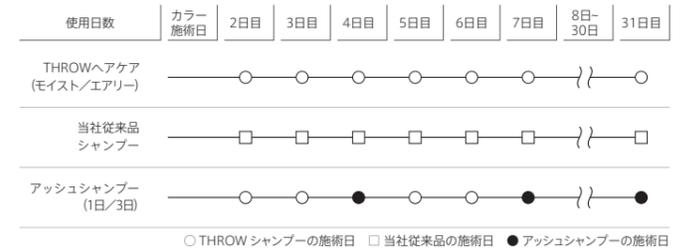
【テスト方法】
ブリーチ毛に「A/08」で処理した毛束を各シャンプー希釈液 (5%) に5分間の浸漬、30秒間の振とうを2回繰り返して検証。
シャンプーの希釈液から毛束を取り出し、溶液を濾過した (0.20μm Filter)



上記の検証より、ラウレス硫酸ナトリウム製品 (当社従来品 A) のヘアカラーの褪色度合いに対し、THROWヘアケアの褪色抑制効果が高いことが分かります。

■ 検証3 継続使用による褪色比較

【テスト方法】
THROW(A/08) で染毛した毛束を使用。
・比較対象品：
THROW シャンプー /THROW アッシュシャンプー / 当社従来品シャンプー
・比較方法：31日間の継続使用により、褪色抑制の比較検証。
アッシュシャンプーのみ THROW シャンプーと合わせて3日に1回使用で検証。



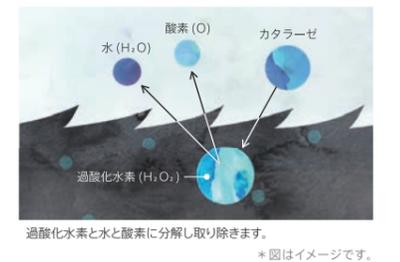
数値の大きさが、褪色度合の高さを示します。

徹底解剖：カラーチューナー

■ ヘアカラー直後の残留物を除去

【テスト方法】
ヘアカラー直後、毛髪に残留する過酸化水素水を「カタラーゼ」で除去することで毛髪内部の過酸化により引き起こされるシステイン酸の生成を抑え、カラーによるダメージをケアします。
更にモイスタチャーフィルム処方^{※5}によりコンディショニング効果・帯電防止効果を発揮し染料の流出を防ぎます。

※5 モイスタチャーフィルム処方…ポリクオタニウム-7 (ヘアコンディショニング剤)



*図はイメージです。

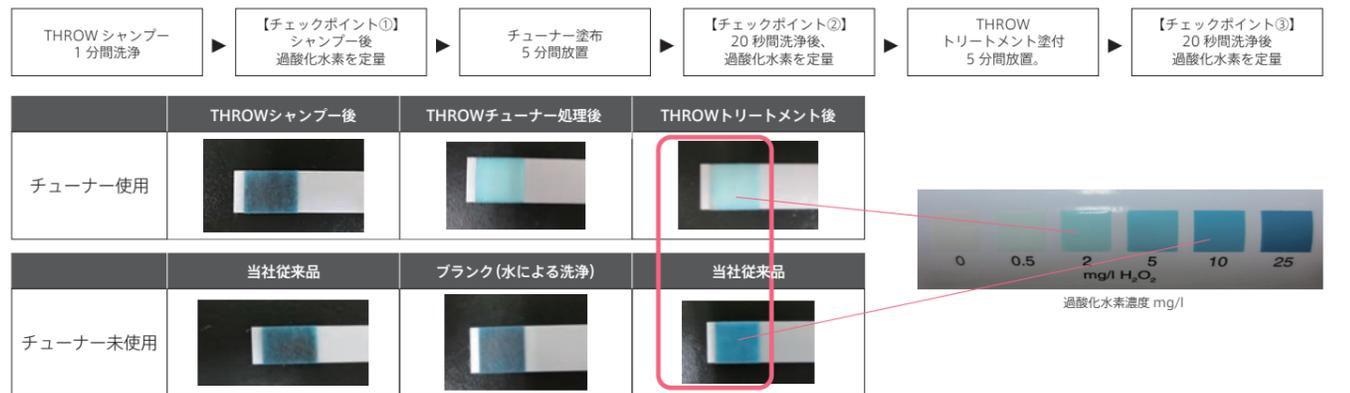
■ バッファー効果により、毛髪pH調整

バッファー成分^{※6}により、カラー後の不安定なpHを安定させ、ダメージや褪色の影響を受けにくい状態に調整します。

※6 バッファー成分…クエン酸、クエン酸 Na (pH調整剤)

■ 検証4 過酸化水素の除去比較

THROW(A/08) で染毛した毛束を以下のプロセスで検証。



上記の検証では、チューナー使用と未使用では過酸化水素の残留度合いの差が大きい事がわかります。毛束検証では残留が若干みられますが、人頭での施術の場合は洗浄方法・時間の違いもあるので残留する事は極めて少ないです。



Belle

Color List 樺井 英樹 氏  Belle

—THROWヘアケアの開発背景を軽くご紹介ください。
カラーに特化したヘアケア商品がほしかった。THROWだからこそ、商品のストロングポイントが明確にあるものが必要と考えています。ラウレスフリーにすることで、カラーの流出を防ぐことができるように。一つ一つの成分にもこだわった商品を開発することに尽きました。多様な種類をだす案もありましたが、お客様にとって今までほしかったのになかったものを集約し、こだわった商品を開発しました。

—今回の開発製品の中で1番こだわったところは？
THROWヘアケアシリーズとして、アッシュシャンプーを開発したことです。お客様が使用した際に、しっかり変化を感じることができる商品にしております。なるべく多くのお客様に1本のシャンプーで対応できるように、様々な髪での色バランスをみてあります。レベルによって色入りのムラを極力へらしています。

—THROWカラー後に使用するメリット、使用中に感じて頂きたいポイントなどありますか？
アッシュシャンプーについては、THROWカラーとの相性や色みの変化です。

—今までのカラー用ヘアケアとの違いはどこですか？
ブリーチ毛の方にはアッシュシャンプーとモイストやエアリータイプとミックスすることで、ムラサキシャンプーのような、黄みを抑える使い方ができます。

—サロンで取り扱うヘアケアの中で、お客様THROWヘアケアをアプローチする際のポイントとは？
アッシュシャンプーのサロンでの活用シーンとしては、ブリーチ毛に対する使用をはじめ、既染部へのトナー使用による「根元リタッチ+アッシュシャンプー」というメニュー提案もできると思います。

—THROWヘアケア発売にあたり、メッセージをお願いします。
アッシュをより長く楽しんでいただくための、今までになかったTHROWだからこそそのターゲットシャンプーです。

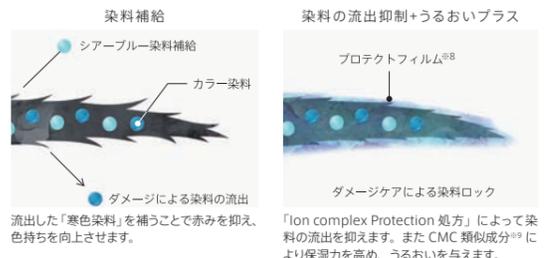
【プロフィール】
中日美容専門学校を卒業後、都内有名店を経て、2013年「Belle」入社。個性を生かしたヘアカラー提案は、多くのお客様から絶大な信頼を得ており、その活動はサロンワークを中心に、業界誌や一般誌においても、その繊細なデザインは高い評価を得ている。また、全国各地でのセミナーや美容専門学校の講師として幅広く活躍している。

徹底解剖：アッシュシャンプー

■ THROW カラーのベース「シアブルー染料※7」配合

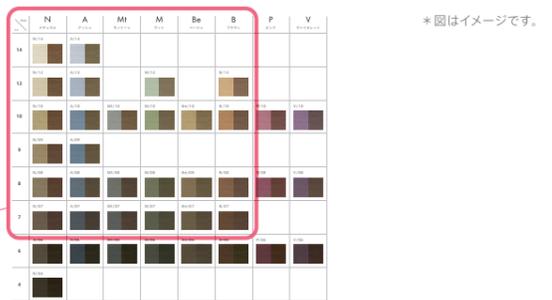
染料の流出を抑えると同時にツヤ、うるおいを与え、褪色が進行していく中で抜けやすい寒色染料を補います。赤みを抑えTHROWカラーの本質であるASHの色持ちを向上させるカラーケア。

※7シアブルー染料成分：HC青2、塩基性青99（着色剤）
※8プロテクトフィルム：ポリクオタニウム-10（ヘアコンディショニング剤）
※9CMC類似成分：オレイン酸コレステリル（加脂剤）



■ 使用に効果的な明度&色相

色相	効果
A Mt M	シアブルーを補うことで、カラーの色みの持続性に効果が高い。
N Be B	褪色の過程で、赤みや黄みを抑えていくのに効果的。
P V	暖色が褪色している状態に使用するとアッシュに変色します。



検証5 アッシュシャンプー染料補給の目安

ベース(ブリーチ毛)	1回使用	週3回使用	連続7回使用
イエローアンダー	赤み・黄みが抑えられ、寒色ベースのシアブルーの色みを感じられる。	ノーマルタイプと交互に使用することで褪色面をシアブルーが補い、アッシュミを持続させる。	連続使用することで、加色度合いが増し、はっきりとしたアッシュミが表現でき、持続性が高い。

検証6 THROW シャンプーとの Mix によるアッシュシャンプーの比較検証

ベース(ブリーチ毛)	アッシュシャンプー:THROWシャンプー 1:1	アッシュシャンプー:THROWシャンプー 3:1	アッシュシャンプー:THROWシャンプー 5:1
イエローアンダー	赤み・黄ばみがしっかり抑えられ、アッシュカラーベースのプレに最適。	赤み・黄ばみをやわらかく抑え、寒色系のオンカラーベース等に最適。	透明感のあるホワイトアッシュベースで、すべての色相オンカラー等に最適。



luve heart's And Be

luve heart 's And Be

スパ統括ディレクター 岸内 寿夫 氏

—THROWヘアケアでテクニカル開発をするにあたり心がけた事は？
THROWカラーメニューの価値をより高めていけるスパ技術。髪の柔らかさを最大限引き立たせる技術。

—カラーチューナーの使用感(仕上がりに効果)について感想を教えてください。
柔らかく、滑らかになる。トリートメントが入りやすい。

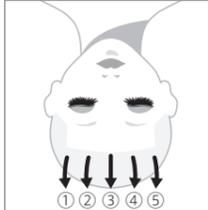
—カラーアフター処理とSPAを融合させる狙い・メリットとは？
カラー後の頭皮のつっぱり感が緩和される。

—マッサージ技術やプロセスについて、サロンで展開する際のアドバイスを頂けますか？
カラーのアフターケアとして、短時間で、よりわかりやすく、簡単にサロンでも即戦力となり、忙しい時でもムラなく展開できるメニューです。

—今後のサロンカラーケアについて
カラーの技術が多様多様になり、カラーの色の持ち、質感、パフォーマンスをより向上できるケアメニューが必要とされる時代になってきていると思います。カラーアフターケアにおいても、剤だけではなく、その価値を引き出す技術も必要かと思えます。

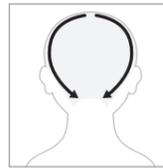
【プロフィール】
サロンワークをはじめ、メーカー商品開発・技術開発・数多くのヘッドスパセミナー講師活動など、多岐にわたり活躍の幅を広げています。

Color Tuner Spa Manual

- 


①シャンプー後、軽くコーミングを行ないます。
②カラーチューナーのノズルでスライスをとり、フェイスライン①～⑤ラインを頭頂部に向かって塗布していきます。
③髪表面はレングスに合わせ適量を塗布し全体に馴染ませます。
使用量の目安：メディアム25g
- 


④両手4指指頭を使いフェイスラインをゆっくりと回転させながら頭皮をほぐしていきます。(①②ラインを行ないます。)
- 



⑤両手指頭と手のひらを使い頭頂部～ネープにかけリンパを流すイメージで軽擦していきます。(①～③ラインを2セット行ないます。)



luve heart's And Be

luve heart 's And Be

トップスパニスト 伊賀 友哉 氏

—THROWヘアケアでテクニカル開発をするにあたり心がけた事は？
スパニストとして、頭皮から毛髪にかけてアプローチできるものを開発したいと思いました。スパニストだからこそ提案できることをテクニカル開発におとしめるように心がけました。

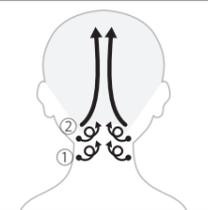
—カラーチューナーの使用感(仕上がりに効果)について感想を教えてください。
カラーチューナーは頭皮や髪へのなじみや指どおりがとても良いです。カラー後の仕上がりは、独特のバサツキがなく、キューティクルが閉じたツヤのある髪質になります。

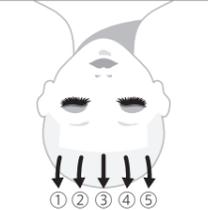
—カラーアフター処理とSPAを融合させる狙い・メリットとは？
カラー剤は髪だけでなく、頭皮にも塗布していますので、SPAを融合させることにより髪だけでなく地肌に対するケア効果も高められます。

—マッサージ技術やプロセスについて、サロンで展開する際のアドバイスを頂けますか？
プロセスとしては、5～10分くらいの中で、お客様へ心地よい時間を提供すると同時に今までにない演出効果から満足度を高められるかと感じます。

—今後のサロンカラーケアについて
『カラー後のケアに関してはTHROWヘアケア』というイメージを浸透させたいです。今回の開発でカラーリング満足度をヘアケアから向上出来るものとして沢山の方々に認知頂きたいと感じます。

【プロフィール】
メーカー商品開発やアロマセラピーを特色としたスパニストとして、専門的な知識や技術習得をし、お客様へサロンワークを通じ内面からの美を提案しています。

- 


④両手4指指頭を使い頸部2ラインを回転させながらほぐした後、両手人差し指と中指で頸部～後頭部を正中線に沿って引き上げます。
- 


⑤両手指頭を交互に使いフェイスラインを軽擦しながら手櫛で髪表面を整えます。(①～⑤のラインを往復で行ないます。)
- 


⑥両手の手のひらを使いハチを包み込むように圧迫し、頭皮～毛先に向かいゆっくり引き上げます。